サーバー環境構築(CentOS6)、動作確認方法

■ソフトをダウンロードする

- Oracle VM VirtualBox のインストーラ
 <u>https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads</u>

 Windows の方: windows hosts を選択、ダウンロードします。
 Mac の方: OS X hosts を選択、ダウンロードします。
- CentOS

<u>https://vault.centos.org/6.10/isos/x86_64/CentOS-6.10-x86_64-bin-DVD1.iso</u> ※ダウンロードした場所(デスクトップやダウンロードフォルダなど)を覚えておいてください。

- ■設定の手順
- Oracle VM VirtualBox のインストール
 右クリックから管理者として実行し、インストールします。
 (インストール中のダイアログの設定は、全てそのままで、 [Next][Yes][Install]などを選びます)
- CentOS のインストール
- 1. Oracle VM VirtualBox を起動します。



- 2. [新規]ボタンをクリック。
 - ・[centos]と入力して[次へ]。



← 仮想マシンの作成
名前とオペレーティングシステム
新しい仮想マシンの記述名を指定し、インストールするオペレーティン グシステムのタイプを選択してください。入力した名前はVirtualBoxでこ のマシンを特定するのに使われます。
名前(N) centos
タイプ(T): Linux 🔹 🛀
バージョン(V): Red Hat (64-bit) 🔹 🎴
エキスパートモード(E) 次へ(N) キャンセル

・メモリーサイズを指定。"2048MB"にする。

(マークが緑色を超えて赤いエリアになるなら適宜 2000 や 1900 などに下げてください)

? ×	? ×	? ×
← 仮想マシンの作成	← 仮想マシンの作成	← 仮想ハードディスクの作成
メモリーサイズ	ハードディスク	ハードディスクのファイルタイプ 新しい仮想ハービディスタで使用したいファイルのタイプを選択して(ださ
この仮想マシンに割り当てるメモリー(RAM)の容量をメガバイト単位で 選択してください。	新しいマシンに仮想ハードディスクを割り当てることができます。その場 合は新しいハードディスクファイルを作成するが、リストから選択または フォルダーアイコンを使用してほかの場所から指定できます。	い。もしばかの取扱をソフトウェアで使用する必要がなければ、設定はそのままにしておいてください。
必要なメモリーサイズは1024MBです。 2048 🐑 MB	複雑なストレージの設定をする場合は、このステップをスキップしてマシ ンを一度作成してからマシン設定で変更を加えてください。	 VHD (Virtual Hard Disk) VMDK (Virtual Machine Disk)
4 MB 8192 MB	必要なハードディスクのサイズは8.00 GBです。 ○ 仮想ハードディスクを追加しない(D)	
	 仮想ハードディスクを作成する(C) すでにある仮想ハードディスクファイルを使用する(U) 	
	± √ Ø	
次へ(N) キャンセル	作成キャンセル	エキスパートモード(E) 次へ(N) キャンセル

- ・ハードドライブは[仮想ハードドライブを作成する]で作成。
- ・ハードドライブのファイルタイプは VDI を選択して次へ。
 - ・物理ハードドライブにあるストレージは、可変サイズで次へ。
 - ・ファイルの場所とサイズは"10GB"に指定し、作成。

? ×	? ×
← 仮想ハードディスクの作成	← 仮想ハードディスクの作成
 物理ハードディスクにあるストレージ 新しい仮想ハードディスクファイルは使用したぶんだけ大きくなるか(可 変サイズ)、または最大サイズで作成するか(固定サイズ)を選択してく ださい。 可変サイズのハードディスクファイルは使用した分だけ(固定サイズを 上限として)物理ハードディスクの領域を消費しますが、スペースを開 放しても自動的に縮小しません。 固定サイズのハードディスクファイルはシステムによっては作成に時間 がかかるかドしれませんが、使用すると高速です ● 可変サイズ(D) ● 固定サイズ(F) 	ファイルの場所とサイズ 新しい仮想ハードディスクファイルの名前を下のボックスに入力するか、 フォルダーアイコンをクリックしてファイルを作成する別のフォルダーを選択 してください。 centos 仮想ハードディスクのサイズをメガバイト単位で指定してください。この サイズは仮想マシンがハードディスクに置くことができるファイルデータの 上限です。 10.00 GB
次へ(N) キャンセル	作成キャンセル

4. VirtualBox 上に新しくできたアイコンを選んで、[設定]をクリック



・ストレージ…[コントローラー:IDE]の項目アイコンのうち左側のアイコンをクリックします。

🥝 centos - 設定					?	×
一般	ストレージ					
ジステム	Storage Devices		属性 ——			
	עב 🔶 באלב אין IDE	C	名前(N):	IDE		
	… 💿 空		タイプ(T):	PIIX4		•
ストレージ	אַלב 🚔 באלעב 🍘			🗹 ホストのレ⁄ロ キャッシュを使う		
┣ त- ग नत	🦾 🔊 centos.vdi					
→ ネットワーク						
媮 シリアルポート						
🌽 USB						
二 共有フォルダー						
ユーザーインターフェース						
		🕹 🔶 🛃 🗖				
				ОК	キャン	セル

5. 「ディスクを選択」を選びます。



6. 左上の「追加」を選びます。

VirtualBox			7	, x
メディア				
(4) 追加(A) 最新の情	安 報に更新(R)			
名前	^	仮想的なサイズ		
> Attached				
> Not Attached				

7. ダウンロードしておいた「CentOS-6.10-x86_64-bin-DVD1.iso」を選択して、「開く」を選びます。

👽 仮想光学ディスクファイルを選択してください			×
← → ヾ ↑ 🔒 > PC > ローカル ディスク (C:) > work	5 ¥	workの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー			
> 📙 FileZilla-3.38.1 ^ 名前	更新日時	種類	サイズ
CentOS-6.10-i386-bin-DVD1.iso	2020/05/27 9:11	ディスク イメージ ファ	3,779,584 KB
PerfLogs			
> eliades			
> Program Files			
> 🧧 Program Files (
> util2			
> Windows			
work			
> 🔜 xampp			
>			
V *			
ファイル名(N): CentOS-6.10-i386-bin-DVD1.iso	~	すべての仮想光学ディス	〈クファイル (' ~
		開く(O)	キャンセル

8. ネットワーク…[割り当て]が[NAT]であることを確認します。

一般	ネットワーク		
🛒 システム	アダプター1 アダプター:	2 アダプター 3 アダプター 4	
亘 ディスプレイ	✓ ネットワークアダプターを キリレンチマ(1)		
🔊 ストレージ	割り当 (A) 名前(N):	NAT •	~
┣ オーディオ	▼高度(D)		
	アダプタータイプ(工):	Intel PRO/1000 MT Desktop (82540EM)	Ŷ
	プロミスキャスモード(P):	拒否	Y
シリアルボート	MACアドレス(<u>M</u>):	0800272EABE8	S
🌶 USB		✓ ケーブル接続(C)	
三 共有フォルダー		ポートフォワーディング(P)	
፲ ユーザーインターフェース			
			OK キャンセル

9. VirtualBox 上に新しくできたアイコンを選んで、[起動]をクリック



10. ここからインストール作業です。次の通り進めます。

[Install or upgrade an existing system]が選ばれた状態になっているのでそのまま、Enter



※ここからの操作は、仮想環境と実環境の切り替えをする場合は、通常「右の Ctrl キー」で行います。 ※パソコンによって異なるため、上手のオレンジ色の枠の部分を参考にしてください。

・Tab キーで選択肢を切り替え、[Skip]を選んで Enter

※インストールメディアの正常性チェックをインストール前に行いたければ「OK」を選択しますが、スキップしても問題はありません

準備が完了すると、右図の画面が出るため「Next」をクリック



・インストールに使用する言語、キーボード言語は「日本語」を選んで、Next

・基本ストレージデバイスを選択して、Enter



・[はい。含まれていません]をクリック。

※インストール先のハードディスクに残っているデータをどうするかを聞いています。しかし、ここで <u>CentOS</u>がインストールされるハードディスクはあくまで見かけ上のもので、Windows 側の他のファイルが消さ れることはありません。



・ホスト名(いわゆるコンピューター名)はそのまま変更せず、左下の[ネットワークの設定]をクリック。

Normal Controls [実行中] - Oracle VM VirtualBox	
ファイル 仮想マシン 表示 入力 デバイス ヘルプ	
このコンピュータのホスト名を指定してください。ホスト名は ネットワーク上でこのコンピュータを識別するために必要です。	
ホスト名: localhost.localdomain	
ネットワークの設定(C)	

[System eth0]を選んで編集をクリック。

[自動接続する]にチェックを入れて、[適用...]をクリック。閉じて、次へ。 ※この設定を行うことで、CentOS を起動した際に自動でインターネットにつながるようになります

ネットワーク接続	System eth0 の編集
RUPUUUK 名前 前回の使用 ▼ 有線 System eth0 れしてしない 間除 閉じる(C)	接続名(N): System eth0 ✓ 自動接続する(A) ✓ すべてのユーザーに利用可能 有線 802.1x セキュリティ IPV4 のセッティング IPV6 のセッティング デバイスの MAC アドレス(D): 08:00:27:1A:31:A7 クローンした MAC アドレス(C): MTU(U): 自動 ♪ バイト キャンセル(C) 適用

・タイムゾーンは特に何も変更せず、次へ。

Nentos (実行中) - Oracle VM VirtualBox	-		×
ファイル 仮想マシン 表示 入力 デバイス ヘルプ			_
使用するタイムゾーンの中で一番近い都市を選択してください:			
 ⑦ システムクロックで UTC を使用 (S) 全 戻る(B) 		次(N)]

・root ユーザーの PW を「RootRoot」に設定し、次へ。警告が出ても「とにかく使用する」を選択。



・[すべての領域を使用する]を選んで、次へ。



- ・[変更をディスクに書き込む]を選択
- ・しばらく待った後、[Minimal Desktop]を選んで、次へ
- (GUI 環境を実現する最低限のソフトをインストールします)

※通常のサーバー構築では[Minimal]を選択します

ntos [実行中] - Oracle VM VirtualBox		-		×
仮想マシン 表示 入力 デバイス ヘルプ				
CentOS のデフォルトインストールは最小限インストールです。オプションとして追加のソフトウェア				
を選択することができます。				
O Darkhan				
O Desktop			_	
O Pasic Server				
O Web Server				
Vitual Host				
Software Development Workstation				
ソフトウェアのインストールに必要な追加リポジトリを選択してください。				
CentOS				
← 他のソフトウェアリポジトリの追加(A) 🛛 🕞 リポジトリの編集(M)				
次のステップでソフトウェアの選択を詳細にカスタマイズすることができます。またはインストール後				
にソフトウェア管理アプリケーションでカスタマイズを行うこともできます。				
 後でカスタマイズ(L) 今すぐカスタマイズ(C) 				
				÷
	(中戻る(B)		次(N)	I

・インストールがスタートする

(15~30分ほどかかります)

11. インストールが済んだら、[再起動]をクリック(CentOSの起動)



・[進む]をクリック



・[はい、ライセンス同意書に同意します]を選んで[進む]

ライセンス情報		
CentOS-6 EULA		
CentOS-6 comes with no guarantees or warranties of any sorts, either written or implied.		
The Distribution is released as GPLv2. Individual packages in the distribution come with their own licences. A copy of the GPLv2 license is included with the distribution media.		
		I
 ● はい、ライセンス同意書に同意します (Y) ○ いいえ、同意しません (O) 		
	戻る(B)	進む(F)

・ユーザー名、フルネーム、パスワードを全て[ia]にする

ユーザーの作成	
システムでの(管理用途ではない)普通の作業のために、'ユーザー'を作成することを 推奨します。以下の情報を入力し、システムに 'ユーザー' を作成します。	
ユーザー名 (U): [ia	
フルネーム (E):	
パスワード (P):	A-
パスワードの確認 (C):	
もしも Kerberos や NIS のようなネットワーク認証が必要な場合、"ネットワーク[グインを使用する" をクリックしてください。	2
ネットワークログインを使用する (L)	
ユーザーを作成している時点でもっと制御(ホームディレクトリや UIDの指定)が 要な場合は、 「高度な設定(Advanced)」ボタンをクリックして下さい。	Z
高度な設定 (A)	
	戻る(B) 進む(F)

・時刻の同期化は特にチェックせず、次へ

・kdump でも、特に何もせず「終了」をクリック(エラーがでてきても「いいえ」をクリック)

※Kdump は画面内の説明にもあるとおり、システムに異常が起こって強制的に停止や再起動が行われると き、 メインメモリ 上の内容を ハードディスク 上に記録するための仕組みを提供するデーモンです。

これでインストールとユーザー作成は完了です。 再起動されるため、次の確認作業をしておいてください。

12. ユーザーia、パスワード ia でログイン、起動を確認する

※以下、確認事項

・画面左上の[アプリケーション]>[システムツール]>[端末]で端末起動を確認。



13. 【CentOS のアップデートに関わる設定ファイルの変更】 ※ここから先の手順はコマンドの操作が入るため、 サーバー講座 A3 の授業を受講後に行うことを推奨します。また、サーバー講座 A4 を受けていただくための準 備となりますので、必ず行っていただきますようお願いいたします。

オンデマンド映像と同じように授業を進めていただくために、下記の手順で設定ファイルの変更をお願いいたします。

13-1. 端末内で[su]と入力、Enter キーで確定します※管理者に切り替えるコマンドです(サーバー講座 A3 で学びます)

Sentos [実行中] - Oracle VM VirtualBox		-		×
ノアイル 仮想マシン 表示 人力 ナハイム ヘルノ	👄 🚓 d. 🖃	4日 8日 (木)	20.48	ia
			20.40	la
ia@localhost:~	_ = ×			
ia のホーム □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
👿 ia@localhost:~			Right Cont	trol

13-2. パスワードが求められるので、[RootRoot]と入力し、[Enter]キーで確定します ※入力文字は表示されません



13-3. [root@localhost ia]# となっていることを確認し「vi /etc/yum.repos.d/CentOS-Base.repo」と入力

※リポジトリファイルをエディタで開いています



13-4.「CentOS-Base.repo」が開きます



13-5. [i]キーを押して、インサートモードに切り替えます



13-6. 下記、赤枠内を書き換えていきます

- ① mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/… の行頭に「#」をつけます
- ② #baseurl=http://mirror.centos.org/centos/… の行頭の「#」を消します(backspace キー)
- ③ #baseurl=http://mirror.centos.org/centos/… の行の「mirror」を「vault」に書き換えます

<変更前>

	E ia@localhost:/home/ia _ □	×
	ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
	<pre>CentOS-Base.repo # The mirror system uses the connecting IP address of the client and the update status of each mirror to pick mirrors that are updated to and geographically close to the client. You should use this for CentOS updates unless you are manually picking other mirrors. # If the mirrorlist= does not work for you, as a fall back you can try the # remarked out baseurl= line instead. # #</pre>	
3 1	[base] name=CentOS-\$releasever - Base <u>mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch&repo =os #baseurl=http://mirror_centos.org/centos/\$releasever/os/\$basearch/ gpgcheck=1 ② gpgcheck=1 ② gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6</u>)
	<pre>#released updates [updates] name=CentOS-\$releasever - Updates INSERT</pre>	~

<変更後>

	🗉 ia@localhost:/home/ia _ 🗆	×
	ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
	# CentOS-Base.repo	~
	<pre># The mirror system uses the connecting IP address of the client and the # update status of each mirror to pick mirrors that are updated to and # geographically close to the client. You should use this for CentOS updates # unless you are manually picking other mirrors. # If the mirrorlist= does not work for you, as a fall back you can try the # remarked out baseurl= line instead. #</pre>	
1) 2)	<pre>[base] name=CentOS-\$releasever - Base #mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch® o=os baseurl=http://vault_centos.org/centos/\$releasever/os/\$basearch/ gpgcheck=1 3 gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6</pre>	5
•	#released updates [updates] name=CentOS-\$releasever - Updates INSERT	~

13-7. 上記①~③を、他のブロックにも行います。(合計5ブロック行います)

※以下は[updates]ブロック、[extras]ブロックの<変更後>です

			ia@lo	calhost:	/home/ia			.		×
ファイル(<u>F</u>)	編集(<u>E</u>)	表示(<u>V</u>)	検索 (<u>S</u>)	端末(<u>T</u>)	ヘルプ(<u>H</u>	1				
<pre>#released u</pre>	pdates									6
[updates] name=CentOS #mirrorlist o=updates baseurl=htt gpgcheck=1 gpgkey=file	-\$relea: =http:// p://vau ::///etc,	sever - /mirror lt.cento /pki/rpn	Updates list.cen os.org/c n-gpg/RP	tos.org entos/\$ M-GPG-K	/?releas releasev EY-CentO	e=\$releaseve er/updates/\$ S-6	r&arch=\$bas basearch/	earch&	lrep	p
<pre>#additional [extras] name=CentOS #mirrorlist o=extras baseurl=htt gpgcheck=1 gpgkey=file</pre>	packag -\$relea: =http:// p://vau ::///etc,	es that sever - /mirror lt.cento /pki/rp	may be Extras list.cen ps.org/c n-gpg/RP	useful tos.org entos/\$ M-GPG-K	/?releas releasev EY-CentO	e=\$releaseve er/extras/\$b 5-6	r&arch=\$bas asearch/	earch8	åreţ	p
<pre>#additional [centosplus name=CentOS mirrorlist= =centosplus INSERT -</pre>	packag] -\$relea http://i	es that sever - nirrorl:	extend Plus ist.cent	functio os.org/	nality o ?release	f existing p =\$releasever	ackages &arch=\$base	arch&ı	repo	

※以下は[centosplus]ブロック、[contrib]ブロックの<変更後>です

E ia@localhost:/home/ia _ □ ×
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)
<pre>baseurl=http://vault.centos.org/centos/\$releasever/extras/\$basearch/ gpgcheck=1 gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6</pre>
<pre>#additional packages that extend functionality of existing packages [centosplus] name=CentOS-\$releasever - Plus #mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch&rep o=centosplus baseurl=http://vault.centos.org/centos/\$releasever/centosplus/\$basearch/ gpgcheck=1</pre>
enabled=0 gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6
<pre>#contrib - packages by Centos Users [contrib] name=CentOS-\$releasever - Contrib #mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch&rep o=contrib baseurl=http://vailt.centos.org/centos/\$releasever/contrib/\$basearch/ gpgcheck=1 enabled=0 gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6</pre>
INSERT



13-9. [:wq]と入力し、上書き保存して終了します。

ह ia@localhost:/home/ia _ □ ×	:
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
aseurl=http://vault.centos.org/centos/\$releasever/extras/\$basearch/ pgcheck=1 pgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6	
additional packages that extend functionality of existing packages centosplus] ame=CentOS-\$releasever - Plus mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch&rep =centosplus aseurl=http://vault.centos.org/centos/\$releasever/centosplus/\$basearch/ pgcheck=1	
nabled=0 pgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6	10
contrib - packages by Centos Users contrib] ame-CentOS-treleasever - Contrib	
mirrorlist=http://mirrorlist.centos.org/?release=\$releasever&arch=\$basearch&rep =contrib	
aseurl=http://vailt.centos.org/centos/\$releasever/contrib/\$basearch/ pgcheck=1 nabled=0	
pgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6	~

13-10. コマンドラインに戻りました。[yum install httpd]と入力し、正常に yum コマンドでパッケージのダウンロ ード・インストールができるか確認しましょう。

E ia@localhost:/home/ia	-	×
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
[ia@localhost ~]\$ su パスワード:		~
[root@localhost ia]# vi /etc/yum.repos.d/CentOS-Base.repo [root@localhost ia]# yum install httpd		
		10
		~

13-11.

・ダウンロードが開始されると、さまざまな文字が表示されます。しばらく待ちましょう。

・Is this ok [y/n] と表示されたら、[y]を入力し[Enter]キーを押します。

※[y]は[YES]という意味です

E			ia@lo	calhost:	/home/ia			_ C]	×
ファイル(<u>F</u>)	編集(<u>E</u>)	表示(<u>V</u>)	検索 (<u>S</u>)	端末(<u>T</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)					
Dependencie	es Resol	ved								
								=====	===	
Package		Arch	V	ersion			Repository	Si	ze	
===========		======	=======	=======		=========		=====	===	
Installing:										
httpd		i686	2	.2.15-6	9.el6.centos	5	base	844	k	
Installing	for dep	pendenci	es:							
apr		1686	1	.3.9-5.	el6_9.1		base	129	k	
apr-util		i686	1	.3.9-3.	el6_0.1		base	89	k	
apr-util-1	ldap	1686	1	.3.9-3.0	el6_0.1		base	15	k	
httpd-too	ls	i686	2	.2.15-6	9.el6.centos	5	base	81	k	
mailcap		noarc	h 2	.1.31-2	.el6		base	27	k	
Updating fo	or deper	ndencies	:							
openssl		1686	1	.0.1e-5	8.el6_10		updates	1.5	М	
Transaction	n Summar	-y								
			=======	=======		==========		=====	===	
Install	6 Pa	ackage(s)							
Upgrade	1 Pa	ackage(s)							
										Ξ
Total down	load siz	ze: 2.7	М							
Is this ok	[y/N]:	y								~

13-12.

・ダウンロードが継続されます。しばらく待ちましょう。

・再び ls this ok [y/n] と表示されたら、[y]を入力し[Enter]キーを押します。

E ia@localhost:/home/ia			-	o x	
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)					
Install 6 Package(s) Upgrade 1 Package(s)					
Total download size: 2.7 M Is this ok [y/N]: y Downloading Packages:					
(1/7): apr-1.3.9-5.el6 9.1.i686.rpm	129	kB	00:00		
(2/7): apr-util-1.3.9-3.el6_0.1.i686.rpm	89	kB	00:00		
(3/7): apr-util-ldap-1.3.9-3.el6_0.1.i686.rpm	15	kB	00:00		
(4/7): httpd-2.2.15-69.el6.centos.i686.rpm	844	kB	00:00		
(5/7): httpd-tools-2.2.15-69.el6.centos.i686.rpm	81	kB	00:00		
(6/7): mailcap-2.1.31-2.el6.noarch.rpm	27	kВ	00:00		
(7/7): openssl-1.0.1e-58.el6_10.i686.rpm	1.5	MB	00:01		
Total 499 kB/s	2.7	МВ	00:05		
警告: rpmts_HdrFromFdno: ヘッダ V3 RSA/SHA256 Signature, Retrieving key from file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-Co Importing GPG key 0xC105B9DE:	key I entOS	D c105 -6	b9de: NOł	KEY	
Userid : CentOS-6 Key (CentOS 6 Official Signing Key) <cr Package: centos-release-6-4.el6.centos.10.i686 (@anacond</cr 	entos a-Cen	-6-key t0S-20	@centos.0 130302013	org> 86.i	
386/6.4)	0 - FR (70)				-
From : /etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-CentOS-6					
Is this ok [y/N]: y				5	-

13-12.「Complete!」と表示されたら、yum コマンドを使用したパッケージのインストールが完了しています。 ★これで【CentOS のアップデートに関わる設定ファイルの変更】は終了です

E ia@localhost:/home/ia –		×
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 検索 (<u>S</u>) 端末(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
<pre>Installing : httpd-2.2.15-69.el6.centos.i686 Cleanup : openssl-1.0.0-27.el6.i686 Verifying : apr-util-1.3.9-3.el6_0.1.i686 Verifying : httpd-tools-2.2.15-69.el6.centos.i686 Verifying : apr-1.3.9-5.el6_9.1.i686 Verifying : apr-util-ldap-1.3.9-3.el6_0.1.i686 Verifying : openssl-1.0.1e-58.el6_10.i686 Verifying : httpd-2.2.15-69.el6.centos.i686 Verifying : mailcap-2.1.31-2.el6.noarch</pre>	7/8 8/8 1/8 2/8 3/8 4/8 5/8 6/8 7/8	-
Verifying : openssl-1.0.0-27.el6.i686 Installed: httpd.i686 0:2.2.15-69.el6.centos	8/8	
Dependency Installed: apr.i686 0:1.3.9-5.el6_9.1 apr-util.i686 0:1.3.9-3.el6_0.1 apr-util-ldap.i686 0:1.3.9-3.el6_0.1 httpd-tools.i686 0:2.2.15-69.el6.cer mailcap.noarch 0:2.1.31-2.el6	ntos	
Dependency Updated: openssl.i686 0:1.0.1e-58.el6_10		
Complete		Ξ
[root@localhost ia]#		~

・画面上部の[システム]>[シャットダウン]でシャットダウンする

以上でインストールと基本設定は終了です。おつかれさまでした。